



# 米国小型バリュー株ファンド Aコース (為替ヘッジあり)

愛称：アメリカン・エンジェル

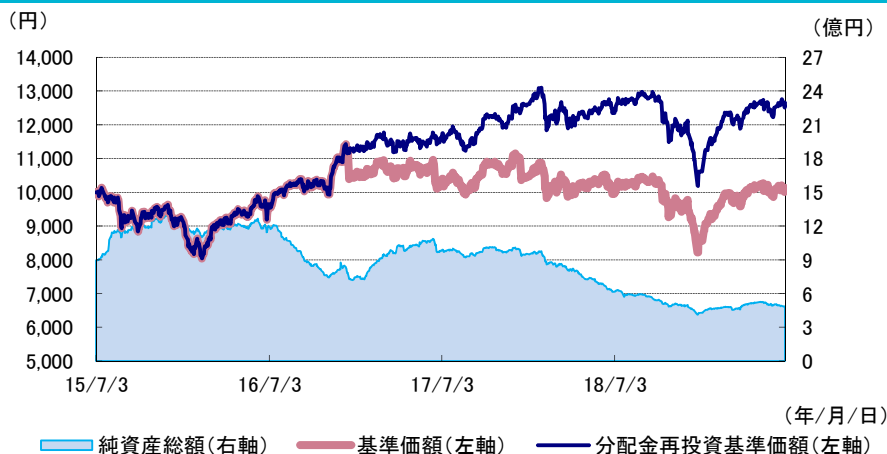
2019/6/28現在

追加型投信／海外／株式

設定日	2015/7/6	基準価額 (前月末比)	10,120円 (+222円)	設定来高値	11,424円	2016/12/12
償還日	2025/6/18	純資産総額 (前月末比)	486百万円 (-7百万円)	設定来安値	8,042円	2016/2/12
決算日原則6月、12月の18日						

※基準価額は10,000口当たり

## ファンドの基準価額と純資産総額の推移 (期間：2015/7/3～2019/6/28)



- ・基準価額および分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。設定前営業日を10,000として指数化しています。
- ・分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を再投資したもとして算出しています。

## 期間別騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	3.1%
3ヵ月	4.1%
6ヵ月	19.2%
1年	2.2%
3年	33.3%
5年	
10年	
設定来	26.5%

・期間別騰落率は分配金再投資基準価額より算出しており実際の投資家利回りと異なります。

## 分配実績 (分配金は10,000口当たり、税引前)

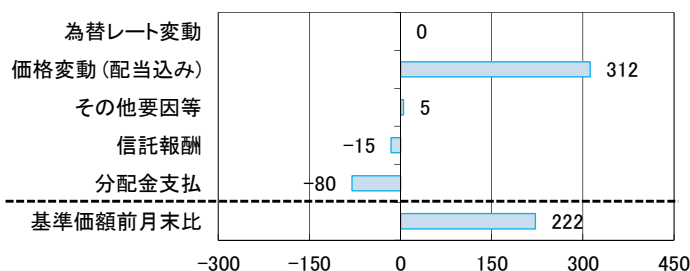
決算期	日付	分配金	決算期	日付	分配金
第1期	2015/12/18	0円	第7期	2018/12/18	0円
第2期	2016/06/20	0円	第8期	2019/06/18	80円
第3期	2016/12/19	770円			
第4期	2017/06/19	530円			
第5期	2017/12/18	690円			
第6期	2018/06/18	300円			
		設定来分配金累計額	2,370円		

## ポートフォリオの状況

	比率
外国株式等	96.2%
その他資産	3.8%

- ・外国株式等は、不動産投資信託証券(REIT)等を含む場合があります。
- ・その他資産は、100%から外国株式等の組入比率を差し引いたものです。
- ・比率は、ベビーファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。マザーファンドの資産組入状況については、3ページをご覧ください。

## 当月の基準価額の変動要因 (下記の数値は概算値であり、その完全性、正確性を保証するものではありません。)



(円) 基準価額の変動要因は、該当期間中の日々の為替レートなどを基に、アセットマネジメントOneが算出した概算値であり、傾向を説明する為の参考値です。その他要因等は基準価額前月末比より、為替レート変動、価格変動、信託報酬、分配金支払を引いて算出したものです。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取り扱いについてのご注意」をよくお読みください。



# 米国小型バリュー株ファンド Bコース (為替ヘッジなし)

愛称：アメリカン・エンジェル

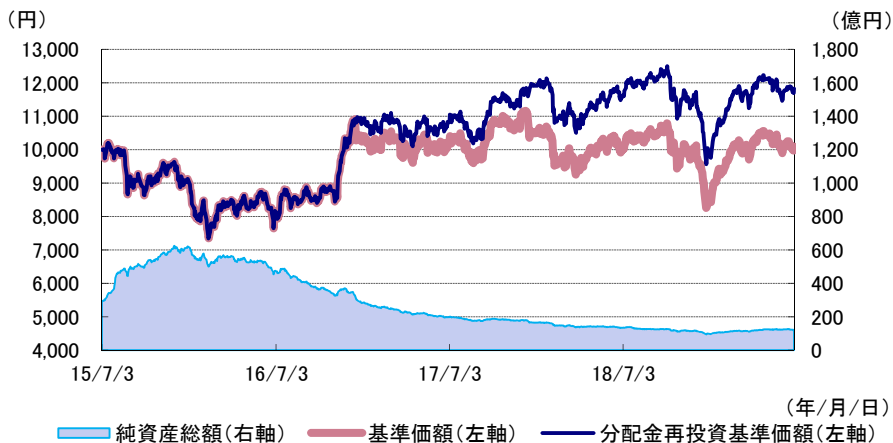
2019/6/28現在

追加型投信／海外／株式

設定日	2015/7/6	基準価額 (前月末比)	10,089円 (+65円)	設定来高値	11,156円	2017/12/11
償還日	2025/6/18	純資産総額 (前月末比)	12,201百万円 (-78百万円)	設定来安値	7,344円	2016/2/12
決算日	原則6月、12月の18日					

※基準価額は10,000口当たり

## ファンドの基準価額と純資産総額の推移 (期間:2015/7/3~2019/6/28)



- ・基準価額および分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。設定前営業日を10,000として指数化しています。
- ・分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を再投資したもとして算出しています。

## 期間別騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	1.8%
3ヵ月	1.9%
6ヵ月	17.7%
1年	2.2%
3年	47.4%
5年	
10年	
設定来	18.2%

・期間別騰落率は分配金再投資基準価額より算出しており実際の投資家利回りと異なります。

## 分配実績 (分配金は10,000口当たり、税引前)

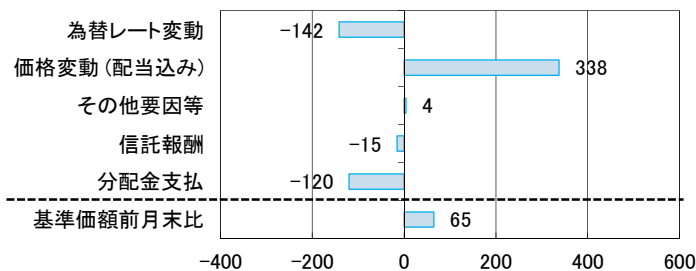
決算期	日付	分配金	決算期	日付	分配金
第1期	2015/12/18	0円	第7期	2018/12/18	0円
第2期	2016/06/20	0円	第8期	2019/06/18	120円
第3期	2016/12/19	530円			
第4期	2017/06/19	100円			
第5期	2017/12/18	710円			
第6期	2018/06/18	210円			
		設定来分配金累計額			1,670円

## ポートフォリオの状況

	比率
外国株式等	96.8%
その他資産	3.2%

- ・外国株式等は、不動産投資信託証券(REIT)等を含む場合があります。
- ・その他資産は、100%から外国株式等の組入比率を差し引いたものです。
- ・比率は、ベビーファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。マザーファンドの資産組入状況については、3ページをご覧ください。

## 当月の基準価額の変動要因 (下記の数値は概算値であり、その完全性、正確性を保証するものではありません。)



(円) 基準価額の変動要因は、該当期間中の日々の為替レートなどを基に、アセットマネジメントOneが算出した概算値であり、傾向を説明する為の参考値です。その他要因等は基準価額前月末比より、為替レート変動、価格変動、信託報酬、分配金支払を引いて算出したものです。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取り扱いについてのご注意」をよくお読みください。



# 米国小型バリュー株ファンド Aコース/Bコース

愛称：アメリカン・エンジェル

< マザーファンドの資産組入状況 >

2019/6/28現在

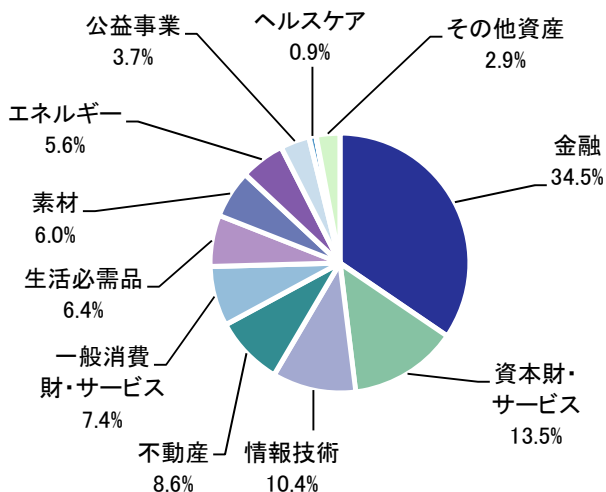
## ポートフォリオの状況

外国株式等	97.1%
その他資産	2.9%

外国株式等銘柄数	64銘柄
----------	------

- ・外国株式等は、不動産投資信託証券(REIT)等を含む場合があります。
- ・その他資産は、100%から外国株式等の組入比率を差し引いたものです。

## 業種別組入比率



## 組入上位10銘柄

順位	銘柄名	業種	概要	比率
1	ユーロネット・ワールドワイド	情報技術	金融機関や携帯電話会社などから、電子送金・資金決済サービス等の処理業務を受託している会社。	4.0%
2	ベリント・システムズ	情報技術	録音・解析等の製品・サービス提供会社。通信や傍受、デジタルビデオ管理、監視等の分野で使用される。	3.9%
3	アクシス・キャピタル・ホールディングス	金融	保険事業の持株会社。子会社を通じて損害保険および再保険サービスを提供する。米国、カナダなどで事業を展開する。	3.9%
4	エクイティ・コモウェルズ	不動産	イリノイ州シカゴに本社を置く不動産投資信託。米国主要都市のビジネス街および郊外において、主にオフィスビルを保有、運営する。	3.7%
5	リパティ・エクスペディア・ホールディングス	一般消費財・サービス	子会社を通じて、主にオンラインの旅行関連サービスを提供する持株会社。	3.7%
6	ホステス・ブランズ	生活必需品	包装食品メーカー。ペーカリー菓子の開発、製造、販売、流通を行う。	3.1%
7	ホワイトマウンテン・インシュアランス・グループ	金融	保険会社。不動産・損害保険および再保険を提供する。	3.1%
8	アトコア・インターナショナル	資本財・サービス	金属製品と電線ダクトソリューションを製造、供給。鋼管、パイプ、電線ダクト、ケーブルトレイ、金属製フレーミングシステム等を提供。	2.6%
9	ペンスキー・オートモーティブ・グループ	一般消費財・サービス	自動車販売会社。米国等でフランチャイズ店を運営する。新車・中古車の販売およびメンテナンス・修理サービスも手掛ける。	2.6%
10	グラフィック・パッケージング・ホールディングス	素材	総合板紙メーカー。世界の飲料・消費者製品メーカー向けに、板紙と板紙製包装製品を提供する。	2.6%

※比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。※業種は、世界産業分類基準(GICS)の11セクターに基づいて分類しています。  
 ※当該個別銘柄の揭示は銘柄推奨を目的としたものではありません。  
 当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。



## 米国小型バリューストックファンド Aコース/Bコース

愛称：アメリカン・エンジェル

< 運用コメント >

2019/6/28現在

### 投資環境

米国株式市場は上昇しました。上旬は、米連邦準備理事会（FRB）高官らのハト派姿勢や米国による対メキシコ関税の発動見送りから上昇しました。中旬は、米連邦公開市場委員会（FOMC）を受けて利下げ観測が一段と強まったことから上昇しました。下旬は、年初来高値圏に到達する中で月末に米中首脳会談を控え、横ばい圏内で推移しました。なお、米国小型バリューストックについても同様に上昇しました。

### 運用概況

保有銘柄では、リバティー・エクスペディア・ホールディングス（一般消費財・サービス）の株価が上昇し、プラスに寄与しました。一方、経営陣による自社株売りが嫌気されたベリント・システムズ（情報技術）の株価が下落し、マイナスに影響しました。

当月は、アルゴ・グループ・インターナショナル・ホールディングス（金融）などの新規購入を行った一方、クレイ（情報技術）などの全部売却を行いました。

### 今後の運用方針

株式市場は今後も通商問題、景気動向、金融政策等に左右されるボラティリティの高い相場展開が想定されますが、依然として米国経済、ビジネス環境、及び個別企業のファンダメンタルズは堅調であり、割安なバリュエーションで投資を行う機会も増えるとみています。米中貿易摩擦、米連邦準備制度理事会の金融政策といったマクロ動向を注視しつつ、優秀な経営陣が株主資本を高収益事業に配分することで利益率を高め、キャッシュフローが着実に拡大しているにも拘らず事業価値が過小評価されている小型企業を選別し、投資を行う方針です。

### お知らせ

今月のお知らせはありません。

### 米国の株式の値動き

#### 米国株指数の推移

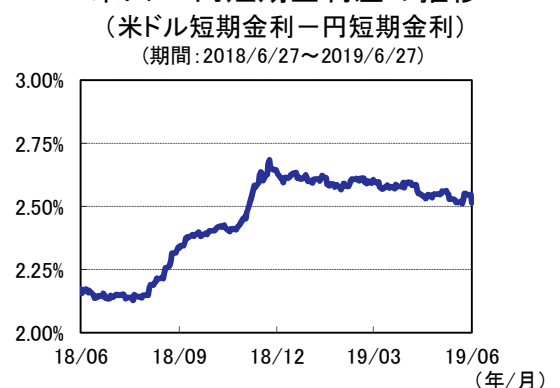


### 為替レート・短期金利差の推移

#### 米ドル/円レートの推移



#### 米ドル・円短期金利差の推移



※上記グラフは過去の実績であり、将来の各資産の値動き、為替レートおよび短期金利差を示唆、保証するものではありません。※米ドル・円の短期金利については、それぞれLibor1ヵ月物金利を使用しております。出所：ブルームバーグ、一般社団法人投資信託協会提供データを基にアセットマネジメントOneが作成。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書（交付目論見書）ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取り扱いについてのご注意」をよくお読みください。

**ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

米国小型バリュー株ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)は、主として米国の株式(預託証書(DR)を含みます。以下同じ。)のうち、小型株を中心に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。

**1. 米国の小型株を主要投資対象とします。**

- ◆主として米国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している株式のうち、小型株に投資を行います。  
※各ファンドにおいて小型株とは、株式の時価総額が相対的に小さい企業の株式をいいます。
- ◆投資にあたっては、企業の事業収益力や経営陣の質、キャッシュフロー等を分析のうえ、株価が割安と判断される銘柄に投資を行います。
- ◆株式の組入比率は、高位を保つことを基本とします。
- ◆各ファンドは、「米国小型バリュー株マザーファンド」をマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用を行います。

**2. 運用は、ビクトリー・キャピタル・マネジメント・インク(ビクトリー・キャピタル社)が行います。**

- ◆マザーファンドの運用の指図に関する権限の一部(有価証券等の運用の指図に関する権限)をビクトリー・キャピタル社に委託します。

**3. 為替ヘッジを行う「Aコース」と、為替ヘッジを行わない「Bコース」の2つのコースがあります。**

- ※ 販売会社によっては「Aコース」もしくは「Bコース」のどちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。
- ◆Aコースは、組入外貨建資産に対して、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。なお、為替ヘッジを行うにあたってはヘッジコストがかかることがあります。
- ◆Bコースは、組入外貨建資産に対して、原則として為替ヘッジを行いません。そのため、基準価額は為替変動の影響を直接受けます。
- ◆AコースとBコース間でスイッチング(乗換え)ができます。  
※販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合、スイッチングの取扱いに一定の制限を設ける場合、スイッチングの購入単位等を別に定める場合等があります。

**※スイッチングの際には、換金時と同様に信託財産留保額(1口につき、換金申込受付日の翌営業日の基準価額の0.3%)および税金(課税対象者の場合)がかかりますのでご注意ください。また、購入時手数料は販売会社が別に定めます。**

\* 市況動向やファンドの資金事情等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

**指数について**

ラッセル2000バリュー指数(配当込み)はラッセル・インベストメント・グループが開発した指数であり、著作権等の知的財産その他一切の権利はラッセル・インベストメント・グループに帰属します。ラッセル・インベストメント・グループは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

「S&P500種指数」は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S&P500種指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。

**主な投資リスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

各ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

**株価変動リスク**

各ファンドが投資する企業の株価が下落した場合には、各ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、各ファンドが投資する企業が業績悪化や倒産等に陥った場合には、各ファンドの基準価額に大きな影響を及ぼすことがあります。なお、各ファンドは株式の組入比率を原則として高位に維持するため、株式市場の動向により基準価額は大きく変動します。**特に各ファンドが主要投資対象とする小型株の値動きは、米国の株式市場全体の平均的な値動きや大型株の値動きに比べ、より大きくなる場合があります。**

**為替変動リスク**

<Aコース>

原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、為替ヘッジを行うにあたり、投資対象通貨(主として米ドル)の短期金利が円の短期金利より高い場合、この短期金利の金利差相当分のヘッジコストがかかります。

<Bコース>

原則として為替ヘッジを行わないため、投資対象通貨(主として米ドル)と円との外国為替相場が円高となった場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

**流動性リスク**

規模が小さい市場での売買や、取引量の少ない有価証券の売買にあたっては、有価証券を希望する時期に、希望する価格で売却(または購入)することができない可能性があり、各ファンドの基準価額が下落する要因となる可能性があります。**特に各ファンドが主要投資対象とする小型株については、米国の株式市場全体の平均や大型株に比べ流動性のリスクが大きくなる可能性があります。**

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではなく、上記以外に「信用リスク」、「カントリーリスク」、「ファミリーファンド方式で運用する影響」などがあります。

各ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。費用の詳細につきましては、当資料中の「ファンドの費用」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**収益分配金に関する留意事項**

- ・投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。

**お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時まで販売会社が受けたものを当日分のお申込みとします。
購入・換金申込不可日	以下のいずれかに該当する日には、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を行いません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行の休業日
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	信託財産の効率的な運用または受益者に対する公平性を期する運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合(換金の請求金額が多額な場合を含みます。)、取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を中止すること、およびすでに受けた購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2025年6月18日まで(2015年7月6日設定)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき。 ・やむを得ない事情が発生したとき。 ・信託契約の一部解約により、受益権の口数が10億口を下回ることとなる時、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が20億口を下回ることとなる時。
決算日	毎年6月および12月の各18日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 ※原則、収益分配金の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。
その他	販売会社によっては「Aコース」もしくは「Bコース」のどちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は委託会社または販売会社までお問い合わせください。

**ファンドの費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

下記の手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。  
※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

●投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 <b>3.24%(税抜3.0%)</b> を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

●投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	各ファンドの日々の純資産総額に対して <b>年率1.9872%(税抜1.84%)</b> ※運用管理費用(信託報酬)は、毎日計上され、毎計算期末または信託終了のとき各ファンドから支払われます。 ※委託会社の信託報酬には、米国小型バリューストックファンドの有価証券等の運用の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社(ビクトリー・キャピタル社)に対する報酬(各ファンドの信託財産に属する当該マザーファンド受益証券の日々の時価総額に対して年率0.85%)が含まれます。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。 ・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・信託事務の処理に要する諸費用 ・外国での資産の保管等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用等 監査費用は毎日計上され、毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等は都度ファンドから支払われます。 ※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。

**投資信託ご購入の注意**

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

**当資料のお取扱いについてのご注意**

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をします。市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

◆ファンドの関係法人 ◆

<委託会社>アセットマネジメントOne株式会社  
 [ファンドの運用の指図を行う者]  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
 加入協会:一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 <受託会社>みずほ信託銀行株式会社  
 [ファンドの財産の保管および管理を行う者]  
 <販売会社>販売会社一覧をご覧ください

◆委託会社の照会先 ◆

アセットマネジメントOne株式会社  
 コールセンター 0120-104-694  
 (受付時間:営業日の午前9時～午後5時)  
 ホームページ URL <http://www.am-one.co.jp/>

**販売会社一覧(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)**

取扱いファンドおよび加入している金融商品取引業協会を○で示しています。

A コー ス	B コー ス	■ 販 売 会 社	登録番号等	日本 証券業 協会	一般 社団法人 日本投資 顧問業 協会	一般 社団法人 金融先物 取引業 協会	一般 社団法人 第二種 金融商品 取引業 協会	備 考
○	○	みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○	

※上記の表は、アセットマネジメントOne株式会社が基準日時時点で知りうる信頼性が高いと判断した情報等から、細心の注意を払い作成したものです。その正確性、完全性を保証するものではありません。

※備考欄の「□」は、現在、各ファンドの新規の募集・販売を停止している販売会社を示しています。

※お客さまへの投資信託説明書(交付目論見書)の提供は、販売会社において行います。